

売薬の意匠あれこれ 〈その9〉 灰皿

北多摩薬剤師会会長・立川市薬剤師会会長代行 平井 有 (ひらい・たもつ)

かつて欧米で注目されはじめた「喫煙と肺がん」の因果関係をめぐっては我国でも1950年代(昭和30年頃)から禁煙運動が始まりました。さらに1980年代(昭和55年頃)からは、副流煙による受動喫煙によって喫煙者の周囲の非喫煙者が喫煙者以上に発がんのリスクを背負うという説が唱えられると、禁煙運動は分煙、嫌煙運動へと発展し、現在では公共交通機関、施設や医療施設での全面禁煙はもちろん、自治体によっては路上での喫煙制限も図られています。

また、小中学校における危険ドラッグや薬の基礎を学ぶ薬育教育の一環として、タバコ、喫煙の害、の啓発授業や薬局での禁煙指導へと広がりました。

広告宣伝入りの小型マッチは薬局をはじめ様々な業界で販促品としてよく作られました。喫煙を助長するイメージがあり、すっかり廃れてしまいました。

今回はマッチ以上に喫煙の道具そのものである灰皿を紹介し、時代とともに移り変わる薬局の販促品の歴史を振り返ってみたいと思います。



【トクホン】
アルミ製、直径150mm
商品名とキャッチコピーが書かれている。「トクホン」は株式会社鈴木日本堂(現、株式会社トクホン)から1933年(昭和8年)に発売された。江戸初期の医聖、永田徳本翁の名前に由来する。従来の膏薬とは異なる新たな貼付薬としてヒットした。



【スルキシン錠】
アルミ製、直径130mm

中外製薬株式会社の持続性サルファ剤「スルキシン錠」の灰皿。1976年(昭和42年)、薬局で販売できたサルファ剤などが要指示薬に指定され販売ができなくなったのでこれはそれ以前の販促物と思われる。2004年(平成16年)に「スルキシン末」が製造中止となり市場から姿を消した。

【ライオンはみがき】
ステンレス製、直径140mm

ライオン歯磨株式会社(現、ライオン株式会社)は「母と子の良い歯のコンクール」に協賛、動く診療所の機能を備えた宣伝カー「ライオンヘルスカー」による巡回活動を始めたが、この灰皿はそれを記念して作られたもの。



【グロンサン】
金属製、直径140mm

中外製薬株式会社は解毒促進・肝機能改善薬として医療用の「グロンサン」を発売。高度経済成長期にはOTC薬として錠剤やドリンク剤を商品化。2004年(平成16年)OTC事業をライオン株式会社に譲渡。



【サロンパス】
陶器製、直径100mm

「トクホン」のライバルと言われた久光兄弟株式会社(現、久光製薬株式会社)の「サロンパス」。よく見るとキャッチコピーは「トクホン」の逆順で「痛みとこりに」とある。

【ノーシン】
木製(外側)・銅製(内側)、直径120mm

木製の外側に銅製の灰受、蝶を模したタバコ休めのある工芸品のような灰皿。「ノーシン」の語源は「脳が新しくなったようにスッキリする、薬の神様の神農様の逆読み」など諸説あり。

